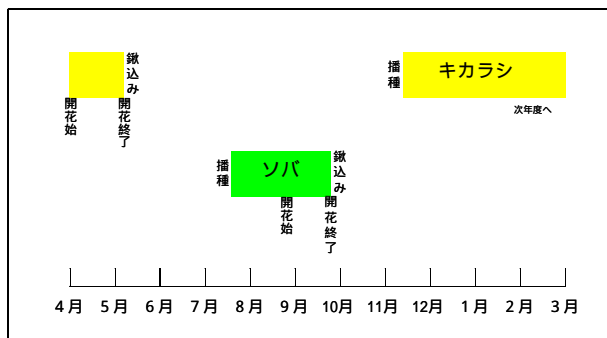


# 不作付地の雑草抑制に 青刈りのキカラシとソバの導入が有効

不作付地の雑草発生を抑制するため、キカラシとソバの導入による被覆管理技術を開発しました。11月中旬に播種したキカラシは翌年の5月中旬まで、7月下旬に播種したソバは9月下旬までそれぞれ雑草の発生量を大きく減らすことができます。開花期（キカラシ：4月上旬～5月上旬 ソバ：8月下旬～9月下旬）には花による景観形成や養蜂業の蜜源としても利用できます。



- ・キカラシ（緑肥用）  
施肥量：化成肥料（14-14-14）を10a当たりNで5kg 播種量：4kg/10aで散播
- ・ソバ（常陸系秋ソバ）  
施肥量：化成肥料（14-14-14）を10a当たりNで4kg 播種量：3kg/10aで30cm幅で条播
- ・開花後は、植物体の水分量が多いのでトラクター等で倒伏させてからハンマーモアで切断し、鋤き込む

図1 キカラシとソバ（常陸系秋ソバ）による遊休地管理作付体系



写真1  
キカラシ区（左）と放任区（右）  
（開花終期）



写真2  
キカラシに訪花した  
西洋ミツバチ



写真3  
ソバ区（左）と放任区  
（右）

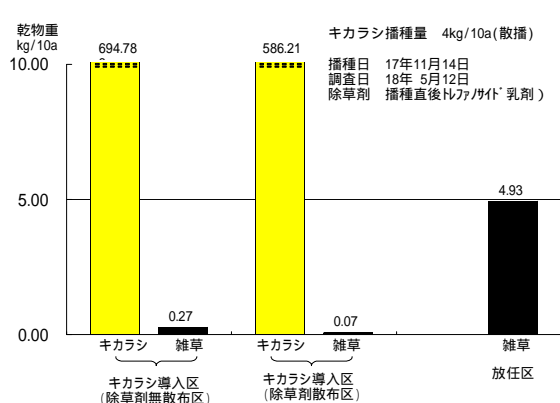


図1 キカラシ栽培による抑草効果

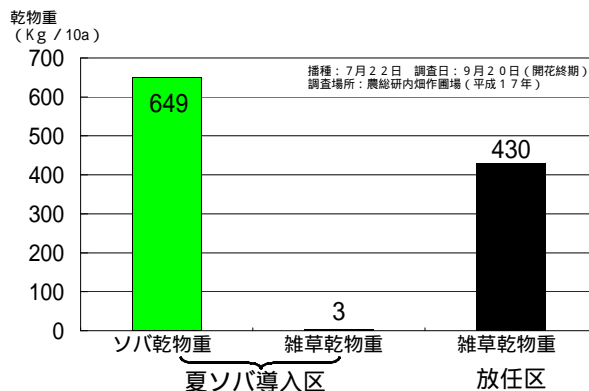


図2 ソバ栽培による抑草効果

キカラシとソバは播種時に除草剤を散布しなくても開花が終わるまで雑草の発生を抑制できます。

（水田農業研究所 生産環境担当 TEL 048-521-5041）